

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

国・地域[台湾]

学校名 [台北市 日新国小] 担当教諭名[王慧玲] (5年2組 23名)

学校名 [金沢市立小坂小学校] 担当教諭名[山口 諒]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	フォーラムの発表の下書き作業	12
	芸術と人文	アートマイル 絵の制作	12
	社会	日本文化の紹介	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	城市的舊跡與未來
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	絵の中にある城は北門というところ。昔臺北府城の正門であります。北門の別名は承恩門です。台北市内に残された清時代の建物の一つです。現在では、台北の重要な地標であります。背景にある大きい花柄の布は 21 世紀美術館でみた台湾の芸術家林明弘(マイケル・リン)の創作より得たアイデアです。これは、日新の学生が金沢へ訪問に行ってから、思いついた発想です。自ら目で見ると一番大切な経験です。これも学生をどうしても訪問に連れて行く理由です。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
外国との交流を通して、自分の国の特色が一層わかるようになりました。資料収集を通して、平凡で普通だと思っている物事の素晴らしさを発見することが出来ました。	1. 相手校と1回のみテレビ会議を行いました。 2. テレビ会議を通して、両国の学生がお互いの生活をもっとわかるようになりました。 3. これから、どうすれば、両国の学生がより知り合えるのは先生にとって大きな課題であります。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
台湾の学生は普段の生活に日本の食べ物や衣服や電気製品などがあるから日本に対して知らないわけではありません。但し、それは表面的な理解のみになります。先生の説明を聞いてから、少しずつ日本文化の美しさや食材の美味しさがわかるようになりました。	今回の交流は年級(日新が五年生、小坂が四年生)が違うため、うまくコミュニケーションができるかどうか、とても心配しました。それは、小坂小へ訪問に行ったら、余計な心配でした。年級が違っても、楽しく話していました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	1. 英語で自己紹介のカードの制作	カードの制作に入ってから、活動に対する意識をし始めた。	英語 芸術と人文
共有 テーマ学習	9月 10月	1. 第一回目のテレビ会議の準備：資料収集及び事前リハーサル 2. 自己紹介 DVD の作成。	1. 生徒は資料の整理に苦手だった。 2. 二回をして、やっとうまく英語で自己紹介が出来ました。学生も上手にレンズに向かうことが出来ました。	英語 芸術と人文
融合 想いを合せた メッセージ 壁画デザイン	11月 12月	1. 両国の学生が日本の授業で絵のテーマや内容などの結論が出ました。 2. 先生の説明で自分たちが絵の構成を考えた。	クラス全員で決め。	芸術と人文 社会
創造 壁画制作	2017 1月	構図 下書き→着色→完成	1. 絵の作業については、日本へ訪問に行った学生が昼休みに来てくれて、色塗りをしていた。 2. 絵の作業は、チーム分けしてから、どの部分を担当するかをチーム自分で決める。	芸術と人文 社会
評価 振り返り 自己評価	2017 2月	美術教室で展示	展示があったからこそ、絵画担当の学生はもっと達成感を感じました。	芸術と人文

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことを ABC で記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	資料の整理を通して、日新の学生は自分の学校の文化について、更に理解できた。
異文化の理解	A	4	テレビ会議を通して学校の文化について、更に理解できた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	3	英語で言いたいことを表現するのは難しかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	資料をたくさん集めたが、整理力がなくて、先生の指導の下で纏めました。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	4	テレビ会議に人間関係の構築ができなかった。ただテレビ会議ではお互いの関係が築けないと思います。直接会ってこそ、友情が築けるでしょう。
協働する力 (役割分担・協力)	B	3	積極的な学生は主導で、消極的な学生が協力との感じだった。
学習を追究する意欲	A	3	先生が積極的に取り組まない限り、学業が大変な学生は、この交流活動になかなかやる気が出せない
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	C	4	考えを伝えることに関する表現力はついた感じる。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	A	4	美術の授業を通して、アートマイルの絵画について感想を言ってもらっていた。